

令和4年度

教育委員会の事務の点検・評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和4年度教育委員会の事務の点検及び評価を行ったので、別紙のとおり報告書を公表する。

令和5年6月30日

中種子町教育委員会

I 教育委員会の事務の点検・評価の概要について(令和4年度分)

1 地教行法等の改正

平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、第26条において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが規定された。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」(同条第2項)と規定された。

2 目的

教育行政運営の中において、施策や事業の「Plan(計画)」→「Do(実行)」→「Check(点検・評価)」→「Action(改善)」というマネジメントサイクルを確立するとともに、一連の情報をわかりやすい形で町民に公表することにより、次の事項の実現を図る。

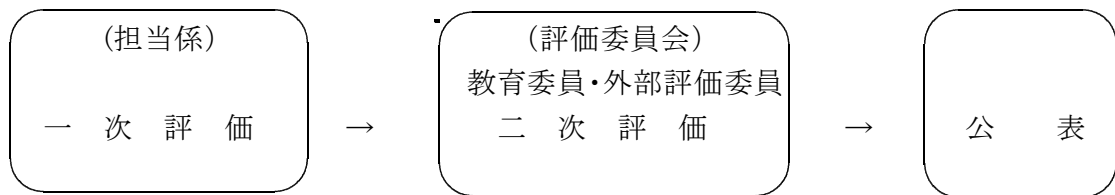
- ア 行政の説明責任の徹底
- イ 効率的で質の高い行政の実現
- ウ 成果重視の行政の実現

3 対象施策及び事業

平成4年度の対象施策・事業については、14施策・事業。

中種子町の教育行政を運営する中において、教育、文化、スポーツの振興策を構成する施策及び事業を点検・評価の対象とした。

4 点検・評価のフロー



5 点検・評価の経過等(予定案)

- 令和5年1月中旬・・・対象事業の選定
- 令和5年4月上旬・・・自己評価(一次評価)
- 令和5年5月22日(月)・・・評価委員会・教育委員会(二次評価)
- 令和5年6月下旬・・・議会報告・公表(町ホームページ)

Ⅱ 事務の点検・評価の内容及び結果について

1 点検・評価の対象とする施策及び事業について

中種子町の教育行政を運営する中において，教育，文化，スポーツの振興策を構成する34施策及び34事業のうち，より重要と思われる14施策・事業を点検・評価の対象とした。

Ⅰ 学校教育の充実

1 確かな学力の定着と向上

【施策】(コード101)

(1)確かな学力の定着と向上

【事業】

- ①「確かな学力」など「生きる力」の育成
- ②基礎的・基本的内容の確実な定着
- ③個に応じたきめ細かな指導の充実
- ④情報化に対応できる資質の育成
- ⑤学習意欲を促す評価の工夫と活用

2 調和のとれた児童・生徒の育成

【施策】(コード102)

(1)調和の取れた児童・生徒の育成

【事業】

- ①道徳教育の充実
- ②生徒指導の充実
- ③保健体育・安全給食指導の充実
- ④特別支援教育の推進
- ⑤人権同和教育の充実
- ⑥キャリア教育(進路指導)の充実

3 教職員の資質向上

【施策】(コード103)

(1)教職員の資質向上

【事業】

- ①校内研修の充実
- ②管理職研修会の充実
- ③教職員研修の充実
- ④教育研究の充実・教職員の資質向上

4 開かれ・信頼される学校づくり

【施策】(コード104)

(1)開かれ・信頼される学校づくり

【事業】

- ①学校経営の充実
- ②幼・小・中・高・養護学校との連携の充実
- ③地域が育む「かごしまの教育」県民週間の推進

Ⅱ 社会教育の充実

1 生涯学習の充実

【施策】(コード201)

- (1)推進体制の整備
- (2)生涯学習施設の利用促進
- (3)指導体制の整備と学習情報の提供

【事業】

2 社会教育の推進

【施策】(コード202)

【事業】

- (1)指導体制の充実
 - ①生涯学習推進体制の充実
 - ②学習情報提供と相談体制の充実
 - ③視聴覚ライブラリーの活用促進
 - ④社会教育関係団体の育成
 - ⑤指導者の育成
- (2)青少年教育の充実
 - ①「子ども体験活動促進事業」の推進
 - ②「郷土に学び・育む青少年運動」の推進
 - ③子ども会活動の育成・援助
 - ④「なかたね子ども体験活動促進事業」の拡充
 - ⑤かごしま学校応援団の推進
 - ⑥ジュニアリーダークラブ「べにんこ」の育成・援助
 - ⑦「青年団体」育成及び事業への指導・助言
 - ⑧「なかたねの子」善行表彰の実施
 - ⑨読書活動の推進
 - ⑩幼児親子学級の開催
- (3)家庭教育・成人教育の充実
 - ①家庭教育の充実
 - ②町PTA連絡協議会活動への指導・助言
 - ③女性団体への支援
 - ④自治公民館活動への支援及び組織との連携
 - ⑤高齢者教育の充実
 - ⑥なかたね学童保育の展開
- (4)人権同和教育の推進
 - ①人権同和教育の推進
 - ②指導者の資質向上
 - ③啓発活動の促進
- (5)その他
 - ①町民運動の推進

3 公民館活動の充実

【施策】(コード203)

【事業】

- (1)自治公民館活動の充実
 - ①中種子町自治公民館連絡協議会の機能化と各自治公民館活動との連携を図る
 - ②公民館総合保障制度への加入促進
- (2)住みよい地域づくりと生活の合理化
 - ①冠婚葬祭等の簡素化運動の充実
 - ②成人式の実施
 - ③環境美化活動の実施
- (3)町民の学習機会の拡充と生活の向上
 - ①生涯学習の推進

- (4)読書活動の充実
- ①図書選定委員会の開催
 - ②新規図書の購入及び貸出業務の充実
 - ③県立図書館及び学校図書との連携
 - ④読み聞かせ運動の推進
 - ⑤中種子町子ども読書推進計画の活用と計画の見直し

4 ふるさと文化の創造

【施策】(コード204)

【事業】

(1)芸術文化活動の促進

- ①創作活動の奨励
- ②鑑賞活動の充実

(2)種子島こりーなの活用

- ①自主文化事業の拡充
- ②貸館事業の奨励と利用率向上
- ③音響, 照明, 舞台技術スタッフの養成・強化
- ④公立文化会館との連携の強化
- ⑤館の機能と管理運営の充実

(3)文化財の保存・活用

- ①指定文化財の保護, 保存と活用
- ②民俗芸能の保存・伝承・公開
- ③埋蔵文化財の発掘調査と保存活動
- ④文化財を活かした観光地整備事業の実施

5 生涯スポーツの町づくり

【施策】(コード205)

【事業】

(1)生涯スポーツ活動の促進

- ①体力づくりとスポーツの生活化
- ②壮年・婦人・実年層のスポーツ活動の促進
- ③中種子よいらーいきスポーツクラブの推進
- ④スポーツ交流の促進

(2)指導者の養成と指導体制の確立

- ①スポーツ指導委員等の研修機会の充実
- ②スポーツ少年団の育成・指導
- ③スポーツ団体・組織の充実
- ④中種子よいらーいきスポーツクラブ指導者の養成

(3)スポーツ活動の充実

- ①競技力の向上・充実
- ②各種大会の開催
- ③各種スポーツの安全管理の強化

(4)施設・設備の整備と効果的な活用

- ①スポーツイベントの開催や誘致による中央運動公園の積極的な活用
- ②学校体育施設開放事業の促進
- ③施設・設備の整備

Ⅲ 教育環境の整備・充実

1 教育委員会の活性化

【施策】(コード301)

【事業】

(1)教育委員の研修機会の充実

(2)定例教育委員会の機能化 ————— ①教育委員会の開催

(3)教育支援体制の整備・充実 ————— ①うみがめ留学制度

(4)町長部局との連携強化

2 学校施設・設備等の充実

【施策】(コード302)

【事業】

(1)学校施設の補修・整備 ————— ①学校施設の改修事業の実施

(2)学校教材・備品の充実 ————— ①小・中学校理科振興備品の整備

(3)教職員住宅の補修・整備 ————— ①職員住宅維持補修

(4)学校施設台帳の整備

3 学校財務事務の適正化

【施策】(コード303)

【事業】

(1)学校備品の整備

(2)諸帳簿等の整備

Ⅳ 学校給食の充実

1 学校給食の充実

【施策】(コード401)

【事業】

(1)学校給食の充実 —————

- ①共同調理場の改善
- ②給食の事務・調理の改善充実
- ③食に関する指導の充実
- ④職員の資質向上

2 施策及び事業の目的

※事業費の予算額は、令和5年3月31日現在

〔施策コード〕 施策名	施策目的	事業名	事業目的	事業費(千円) R4予算額
〔101〕 確かな学力の定着と向上	小・中・高等学校の連携を密にし、児童生徒一人一人に基礎的・基本的内容の確実な定着を図るとともに、能力や個性を重視した学習指導を展開し、創造性や自己教育力を育てる。	①基礎的・基本的内容の確実な定着	各種学力検査結果の分析を行い、各学校の課題に応じた指導法の改善や共通実践項目を設定し、児童生徒の基礎的・基本的内容の定着を図る。 町内児童生徒の学力の現状を把握し、学力向上を図るために小・中・高等学校の連携を図る。	
〔102〕 調和のとれた児童・生徒の育成	道徳教育や人権同和教育、個性を伸ばす生徒指導や特別支援教育の充実を図るとともに、たくましく健康な体づくりを目指した保健体育の充実を図り、調和のとれた児童生徒を育成する。	④特別支援教育の推進	児童生徒の特別な教育的ニーズを的確に把握し、適切な支援や助言を行うことにより個々の児童生徒の適切な発達を促す。	19,291
〔103〕 教職員の資質の向上	教職員が校務分掌や職種に応じた研修に努め、個々の指導力を向上させることで、より一層、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を図る。	③教職員研修会の充実	各教科担当や職種毎に研修を実施することで、指導力の向上や効果的な業務の推進を図る。	280
〔202〕 青少年教育の充実	家庭や地域の教育機能の活性化を図り、実践活動を通じて、豊かな心・ふるさと意識を持った青少年の育成と自主的な活動ができる青少年団体の育成に努める。	①「子ども体験活動促進事業」の推進	多くの人々との交流を通して様々な体験を行うことで、子どもたちの個性や創造性をさらに深め、健康で豊かな人間形成を目指す。	437
〔202〕 家庭教育・成人教育の充実	家庭教育学級の開設や子育て講座等を開催し、家庭教育を支援する学習機会の拡充に努める。 成人及び高齢者等の多様化・高度化・専門化している学習要求に応えるため、団体活動やボランティア活動を奨励し、地域づくりの主体者としての資質の向上に努める。	⑥なかたね学童保育の展開	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、放課後における安全で健やかな育成を推進するため、各学校の空き教室等を活用し、地域の中で児童を守り育て本町の次世代育成に資する。	17,432
〔203〕 自治公民館活動の充実	自治公民館活動、冠婚葬祭簡素化運動の推進に努める。	①中種子町自治公民館連絡協議会の機能化と各自治公民館活動との連携を図る。	町内の自治公民館が連絡提携し、地域における公民館活動を充実強化して時代に即応した教育、産業、文化の振興を図り、共生・協働の自主的な村づくり活動の推進並びに明るく温もりに満ちた郷土づくりを推進する。	429
〔204〕 種子島こりーなの活用	種子島こりーなを有効に活用し、年代・教育的効果・芸術性・情操性を考慮した選定に基づく自主文化事業の実施は、町民の芸術的で創造性あふれる文化活動を促し、ゆとりある生きがいに満ちた活力の源となる。	①自主文化事業の拡充	種子島こりーなの効率的な運用と自主文化事業による鑑賞事業の拡充を図る。	1,142

〔204〕 文化財の保存・活用	地域に残る貴重な財産である文化財を次世代に継承するため、指定・登録等による保護を推進するとともに、その保存及び活用のために必要な措置を講じ、町民の正しい理解と認識を高め、郷土愛を培うことを目的とする。	①指定文化財の保護、保存と活用	国・県・町指定の文化財について、その保存及び活用のために必要な措置を講じ、もって郷土文化の向上に資する。	10,411
〔205〕 生涯スポーツ活動の促進	全ての町民が、いつでも、どこでも、だれでもそれぞれの関心や適性に応じて、生涯にわたって主体的にスポーツに親しむことは、体力の向上や健康の保持増進はもとより、明るい地域づくり職場づくりの実現につながることから、生涯スポーツの推進を図ることが必要である。	①中種子よいらーいきスポーツクラブの推進	誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現のため「スポーツクラブ」活動を推進する。	7,382
〔205〕 施設・設備の整備と効果的な活用	太陽の里・中央運動公園を積極的に整備・活用し、より専門的なスポーツ団体の誘致及び町民のニーズ・高度化に対応しながら生涯にわたる健康づくり・スポーツ活動を一体的に促進し”スポーツの町づくり”を推進する。	①スポーツイベントの開催や合宿誘致による中央運動公園の積極的な活用	”スポーツの町づくり”を目指して、施設を有効利用し、競技力の向上・健康づくり・青少年健全育成に資するため、県内外のスポーツ選手の合宿誘致を図る。	2,186
〔301〕 教育支援体制の整備・充実	就学の支援体制を充実し、就学困難な児童・生徒等の保護者に対して支援を行い、教育の円滑な実施と機会の均等を図る。	①うみがめ留学制度	児童・生徒の減少傾向に歯止めがかからない中、島外からの家族留学及び転学を希望する児童については里親の協力を得て「留学生」として受け入れ、地元児童との交流の中で、お互いが刺激を受けることにより教育効果の向上と学校及び地域の活性化を図る。	6,031
〔302〕 学校施設の補修・整備	児童・生徒の安心、安全を最優先に考えた施設の整備を行い、教育環境の充実を図る。	①学校施設の改修事業の実施	学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす場所である。安心安全な教育環境を確保するため、危険箇所の整備を行う。	102,568
〔302〕 教職員住宅の補修・整備	教職員住宅の老朽化に対し、計画的な改修により教職員の住環境の整備・充実を図る。	①職員住宅維持補修	教職員の安心安全な住環境を確保するため、教職員住宅の維持補修を行い、住宅の快適性と安全性の向上を図る。	39,576
〔401〕 学校給食の充実	子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進のため、献立内容の充実を促進するとともに、各教科等において学校給食が「生きた教材」としての活用を図る。また、食料の生産等に対する子どもの理解と関心を深めるため、生産者団体と連携し地産地消の推進を図る。	③食に関する指導の充実	栄養教諭による各学校への訪問指導を充実し、児童・生徒及び保護者への「食」に対する意識の高揚を図る。	

3 点検・評価の結果について

(1) 事業評価について

ア 評価の観点

事業の点検・評価は、事業の必要性、事業の進捗及び事業の効率性の観点で行った。

- ・ 必要性 [A: 適合, B: 概ね適合, C: 不適合]
- ・ 進捗状況 [A: 順調, B: 概ね順調, C: 要改善]
- ・ 効率性 [A: 効率的, B: 概ね効率的, C: 要検討]

イ 評価の観点の状況

施策コード	事業名	必要性	進捗状況	効率性
101	②基礎的・基本的内容の確実な定着	A	A	A
102	④特別支援教育の推進	A	A	A
103	③教職員研修の充実	A	A	A
202	①「子ども体験活動促進事業」の推進	A	B	A
	⑥なかたね学童保育の展開	A	A	A
203	①中種子町自治公民館連絡協議会の機能化と各自治公民館活動との連携を図る	A	B	A
204	①自主文化事業	A	B	A
	①指定文化財の保護、保存と活用	A	B	B
205	③中種子よいらーいきスポーツクラブの推進	A	B	A
	①スポーツイベントの開催や誘致による中央運動公園の積極的な活用	A	A	A
301	①うみがめ留学制度	A	A	A
302	①学校施設の改修事業の実施	A	B	A
	①職員住宅維持補修	A	B	A
401	③食に関する指導の充実	A	A	A

施策コード	事業名	点検・評価	成果指標	達成状況
101	②基礎的・基本的内容の確実な定着	確かな学力の定着を図ることは、児童・生徒の将来の職業選択の幅を広げるとともに、町の活性化や発展に寄与することに直結する。令和4年度は、令和3年度まで時間や内容が縮減されていた各種研修会を目的に応じた形態で実施することができた。	学力調査 目標値 8校 実績値 8校 研究公開、連絡会 目標値 4校 実績値 4校	100.0%
102	④特別支援教育の充実	各学校の特別な支援を必要とする児童生徒について、専門的な立場からの指導や助言をもとに教育相談や各種検査等を実施すること	支援員配置数 目標値 9人 実績値 10人	106.7%

		<p>で、個々の児童生徒の教育的ニーズに対応した就学指導や支援を行った。</p> <p>特別支援教育支援員を配置することで、通常学校で特別な支援を必要とする児童の障害に応じた学習・生活支援ができた。</p>	<p>就学指導委員会・就学教育相談会回数</p> <p>目標値 6回 実績値 6回</p>	
103	③教職員研修の充実	<p>離島という地理的条件により、教職員の島外研修に参加する機会が限られている。そのため、外部から講師を招聘し、よりレベルの高い研修機会を設定したことで教職員の資質向上を図ることができた。</p> <p>令和4年度は、オンラインでの研修会を取り入れたり、目的に応じた形態の研修を行い令和3年度と比較すると新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった研修会がかなり減少し、従来どおりの研修会を実施することができた。</p>	<p>各種研修会の実施</p> <p>教職員対象</p> <p>目標値 24回 実績値 24回</p> <p>児童生徒対象 (町音楽祭)</p> <p>目標値 1回 実績値 1回</p>	100.0%
202	①「子ども体験活動促進事業」の推進	<p>町子連や青年団等とも連携を図りながら、コロナの影響で実施できなかった事業があったが、縮小して開催するなどの工夫をし、ほとんどの事業を実施できた。</p> <p>町子連や青年団等とも連携を図りながら、コロナの影響で実施できなかった事業があったが、縮小して開催するなどの工夫をし、ほとんどの事業を実施できた。</p> <p>地域の人材や資源及び県の事業等を活用しながら様々な活動ができています。</p> <p>課題として、コロナ禍により3年ほど実施できていない事業があるため、事業内容の見直し等が必要である。</p> <p>・親子ふれあいウォーク延べ66名 (目標:70名)コロナのため縮小開催</p> <p>・さつま交流事業0名(目標:20名) コロナのため中止</p> <p>・チャレンジ・キッズ延べ158名 (目標:196名)</p>	<p>参加者数</p> <p>目標値 286人</p> <p>実施値 224人</p>	78.3%
	⑥なかたね学童保育の展開	<p>両親共働きが多い現代においては、必要な事業である。</p> <p>・児童に安心・安全な場所の提供ができています。</p>	<p>利用者数</p> <p>目標値 98人 実施値 90人</p>	91.8%

		<p>令和4年度から増田校区以外の校区も開所場所を学校外に移転し、土曜日や長期休業中も開所したが、大きな問題や事故等もなく進捗した。</p> <p>町内では、すでに定着した事業となっており、地域雇用創出においても欠かせないものである。</p> <p>利用児童数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星原小 18名 指導員数 4名 ・納官小 11名 指導員数 9名 ・増田小 30名 指導員数 5名 ・南界小 23名 指導員数 5名 ・岩岡小 8名 指導員数 6名 <p style="text-align: center;">計 90名 29名</p>		
203	①中種子町自治公民館連絡協議会の機能化と各自治公民館活動との連携を図る	<p>校区・自治公民館ともそれぞれの地域の拠点であり、公民館活動の連携・充実は欠かせないものである。</p> <p>各事業は、コロナの影響によりほとんどの会議・研修会が中止となった。</p> <p>校区長・自治公民館長の資質向上及び災害時の連携を図る上でも必要な事業である。また、簡素化運動は町内に定着しており、町民からも取り組みを評価する意見が多く寄せられている。</p> <p>少子・高齢化により集落形成そのものや女性部組織の活動等に支障をきたしてきていることが課題である。</p>	<p>開催回数</p> <p>目標値 30回</p> <p>実施値 16回</p>	53.3%
204	①自主文化事業の拡充	<p>町民の芸術的で創造性あふれる文化活動を促し、ゆとりある生きがいに満ちた活力の源とするため、年代・教育的効果・芸術性・情操性を考慮した自主文化事業の実施が必要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、4事業のみの開催であった。優れた芸術作品をより多くの方に見て頂くため、広報手段に力を入れ、チケット料金も低額設定しているが集客率が低い。有料であっても劇場へ足を運ぶといった文化意識の向上と普及啓発が必要である。</p> <p>財団等の助成事業や会館連携事</p>	<p>入場者数</p> <p>目標 1,900人</p> <p>実績 516人</p>	27.2%

		業の活用によりコストを抑えて事業を実施できている。また、コロナにより実施できなかった事業については、令和5年度に延期した。		
	①指定文化財の保護、保存と活用	<p>令和4年11月に本町坂井地区に所在する立切遺跡が国史跡に指定された。これを受けて、記念シンポジウム、文化財講座、普及啓発講座、特別企画展を実施した。また、子どもたちを対象としたフォト講座や勾玉作り・火起こし体験等を実施し、立切遺跡の魅力と重要性を幅広い年齢層に周知することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念シンポジウム 来場者 約180名(オンライン 閲覧 約20名) ・文化財講座(本村公民館) 受講者 約10名 ・普及啓発講座(種子島こり～な) 受講者 約20名 ・特別企画展(歴史民俗資料館) 来館者 156名 <p>埋蔵文化財に限らず、町内に残る文化財は国民共有の財産であることから、文化財が消失することはない。しかし、有形文化財の経年劣化や無形民俗文化財の担い手・後継者不足は全国的な問題になっており、本町においても顕著である。どのように保護・保存し、どのように活用していくか、今までどおりのやり方ではなく新たな方法に取り組む必要がある。</p>	開催等の回数 目標値 39件 実績値 34件	87.2%
205	③中種子よいらーいきスポーツクラブの推進	<p>スポーツに親しむことで、体力の向上や健康の保持増進に繋がるため、スポーツクラブは欠かせないものである。新型コロナウイルス感染症により教室・サークルの中止もあった。今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止ため教室・サークル等の中止もあったが、2月にはスポーツクラブ創立20周年記念事業を盛大に行うことも出来た。次年度は、継続して感染症対策を図り会員確保に努め、スポーツクラブ会員のニーズに応えられるスポーツクラブ運営に努めたい。</p>	クラブ会員数 目標値 1,000人 実績値 624人	62.4%

	①スポーツイベントの開催や誘致による中央運動公園の積極的な活用	県内外からのスポーツ合宿の誘致による交流人口を拡充し、町の活性化を図るうえでも必要である。本年度も、昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けて学生合宿は減少している。実業団等については感染対策を図り実施することが出来た。合宿を誘致することで施設の有効利用ができ競技者や指導者の向上が期待できる。また旅館業やスーパー等への経済効果もある。	合宿誘致人数 目標延人数 3,500人 実績延人数 1,530人	43.7%
301	①うみがめ留学制度	全国の様々な地域から児童を受け入れることで、小規模校ゆえに硬直しがちな学校生活や友達関係に刺激を与え、学校、地域の活性化が図られた。 しかし、実施委員会では、事業を推進するためには、里親の確保、協力が最も大きな課題であり、今後も、里親確保のために地域の協力が得られるかを危惧している。	留学生 受入予定数 8人 受入実績数 2人	25.0%
302	①学校施設の改修事業の実施	星原小体育館改修工事、納官・岩岡小給水管改修工事、南界小普通教室空調設備新設工事、納官小視聴覚教室空調設備新設工事、野間小多目的教室空調設備新設工事、中種子中特別教室空調設備新設工事、各小中学校施設設備の改修・補修が行われ、児童生徒、教師及び地域住民が安心して利用できる学校施設の整備が図られました。また、学校施設等長寿命化計画に基づき学校施設の長期的な視点から求められる機能や役割を考慮した長寿命化改修、財政負担の平準化、児童生徒の安全性の確保や適正な教育環境の充実が図られました。	学校施設改修事業 事業目標値 102,568千円 事業実績値 102,568千円	100.0%
	①職員住宅維持補修	教職員住宅は全体的に築年数が古く、建て替えが必要な住宅もあるが、高額な予算を必要とするため、計画的な住宅整備が必要となる。今年度は、野間小教職員住宅の外構工事を実施した。その他の教職員住宅についても、老朽化した施設の改修、補修を実施した	教職員住宅改修事業 事業目標値 39,576千円 事業実績値 39,576千円	100.0%

		事により、居住環境が改善された。		
401	③食に関する指導の充実	<p>児童・生徒及び保護者への「食」に関する指導を実施し、学校給食だけでなく家庭での食事についても指導することにより、児童・生徒の栄養改善及び健康増進を図った。</p> <p>また、アレルギーをもつ児童・生徒の保護者と連携をとりながら改善に取り組んでいる。</p> <p>給食の食材については、地元産米や野菜などを利用しながら地産地消を推進し、米及び野菜生産者との交流給食を開催し、児童・生徒の給食への関心を持たせた。</p>	<p>研修， 広報啓発， イベント</p> <p>・ 交流回数</p> <p>目標値 74回</p> <p>実績値 75回</p>	101.4%

1 点検・評価の対象施策及び事業について

〔施策コード〕 施策名	事業名	意見・提言の内容	対応等
101 確かな学力の定着と向上	②基礎的・基本的内容の確実な定着	特に意見なし	
102 調和の取れた児童・生徒の育成	④特別支援教育の推進	<p>・小学校で特別な支援を受けていなくても、中学校、高校と困り感が強くなり、診断を受ける生徒もいる。通常学級に在る困り感が強い児童生徒についても、進級の際には情報が共有されるようお願いしたい。その困り感に気付けるよう、先生方にもより専門的な知識が得られるよう、研修を充実させてほしい。</p>	<p>今後も町教育支援委員会、学校、町特別支援教育振興会との連携による家庭・地域への啓発と、学校が一体となった適正な就学指導の促進を図る。また、教育講演会等を通じ専門的な研修を行っていききたい。</p>
103 教職員の資質の向上	③教職員研修の充実	<p>・リモートを活用し、先生方の負担を減らし、先生方がより学びたいと思えるよう、県内外の研修の情報提供をお願いしたい。</p>	<p>今後もオンラインでの研修を取り入れ、教職員の負担軽減を図りながら充実した研修を行っていく。</p>
202 青少年教育の充実	①「子ども体験活動促進事業」の推進	<p>・町内には、自然・文化・歴史の面に於いて指定文化財が多く存在することから、これらの有効活用の観点から体験活動を通じ理解を深め、情報発信活動を積極的に進めてほしい。</p> <p>・登録者数が増えており、達成度が上がっている。今後も目標値達成の為、SNSの活用や町のホームページなどでの積極的な情報発信をお願いしたい。</p>	<p>子ども体験活動については、町内の文化財を活用した体験活動も検討していきたい。</p> <p>また、活動参加募集の広報、啓発方法については、SNSや町のホームページ等も活用しながら情報発信を行い、安心して参加できる体制づくりに努める。</p>
202 家庭教育・成人教育の充実	⑥なかたね学童保育の展開	<p>・登録児童数に対し、指導員数が不足している校区があるので、人材確保に努力してほしい。開放的な放課後における児童の安全管理について指導徹底をお願いしたい。</p>	<p>令和5年度からは全ての放課後児童クラブ事業をNPO法人等に民間委託した。福祉係と連携を図りながら指導を行っていく。</p>
203 自治公民館活動の充実	①中種子町自治公民館	特に意見なし	

	連絡協議会の機能化 と各自治公民館活動 との連携を図る		
204 種子島こりーなの活用	①自主文化事業の拡充	特に意見なし	
204 文化財の保存・活用	①指定文化財の保護、 保存と活用	・立切遺跡の国指定に伴い、 5年度以降その保存、活用について更に踏み込んだ施策の展開を期待したい。併せて地域の理解と協力が得られるよう情報提供が必要。 ・SNS や町のホームページを活用して、町内の文化財の魅力をもっとアピールしてほしい。	国史跡に指定された立切遺跡をはじめ、町内には貴重な文化財が数多くある。それらの保存・活用は町民の文化財に対する意識の向上につながるものであることから、企画展や町イベント等での公開、安全に見学できる環境整備など随時実施していく。
205 生涯スポーツ活動の促進	③中種子よいらーいきスポーツクラブの推進	・目標値に対しての達成度が令和3年度に比べ低くなっている。コロナの影響も少なくはなっている中、達成度が低くなっていることから、会員を増やすための新たな取り組みが必要だと思われる。	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことから、規制も緩和された。今後、町民のニーズに応えられるスポーツクラブ運営に努め、会員確保に努める。
205 施設・設備の整備と効果的な活用	①スポーツイベントの開催や誘致による中央運動公園の積極的な活用	・合宿誘致についてのみの評価で、スポーツイベント開催についての事業の概要や評価が無い。	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことから、スポーツイベントの開催も増加することが見込まれる。 スポーツイベントの概要・評価についても今後記載していきたい。
301 教育支援体制の整備・充実	①うみがめ留学制度	・学校訪問、卒業式参加を通じて、留学生及び親の様子、考え方を知ることが出来、それなりの効果が見られたと思う。里親に限られ負担になっている面もあるように思う。他の学校に広げられないか。	岩岡小では、里親の確保が困難になっていることから、令和4年度に親子留学用の住宅改修を行い、令和5年度から1家族の親子留学の受け入れを開始した。里親の確保については、引き続き、地域の協力をいただきながら、里親確保に努める。また、親子留学用の住宅確保等諸課題についても検討を行う。
302 学校施設の補修・整備	①学校施設の改修事業	・予算面での制約はありますが、更に整備を進めていただ	学校施設も年々老朽化しており、危険箇所から、順次改修を

	の実施	きたい。	行い, 安心・安全な教育環境の整備を図る。
302 教職員住宅の補修・整備	①職員住宅維持補修	・予算面での制約はありますが、更に整備を進めていただきたい。	住宅の適切な維持管理に努め、教職員の安心・安全な住環境の整備を図る。
401 学校給食の充実	③食に関する指導の充実	特に意見なし	

2 まとめ(全体意見等)

令和4年度教育委員会の14施策・事業について、点検・評価を行いました。

各事業の必要性・進捗状況については、全般的に、それぞれに課題もありますが、おおむね順調に推移しているものと思われま。

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う事業の縮小・中止により、目標値に達していない事業については、その課題を十分検討した上で、事業の必要性、効率性を考慮し、事業内容の見直しを図る必要があると思ひます。

今後についても、中種子町の教育行政発展のため、学校教育及び生涯教育双方の観点から様々な意見や情報等を交歓しながら、各種事業を推進していただきたい。